



飛翔

～互いに手を携えて～

3年 学年だより

2021. 4. 26(月)No. 3



3年生になって ～皆さんの作文より～

「挑戦の学年」

私が3年生になったと実感したのは、過去問をしようとして学年の数字を見た時だった。周りから「3年生だね」と言われても心が追いついてなくて、自分のことではないように感じていたが、自分で3年と書いていると本当なんだと思う。今思うと1年生、2年生は、あっという間に過ぎてしまった。だからこそ3年生では、楽しかったと思える思い出をたくさん作って卒業したいと強く思う。

まずは、あと少しの部活動。昨年できなかったコンクールも多くあり、自分たちにとってはこのメンバーでの、最初で最後の大会を全力で頑張りたい。

また、勉強が一番大切な時期になってくると思う。自分の姉や兄の姿を見てきて、簡単なものではないとはわかっている。しっかりと自分を持って挑戦したい。

「僕の決意」

僕は3年生になり、悔いのない一年にしていきたいと思います。なぜなら、僕たちは今芦城中学校の最上級生だからです。中学校を卒業したら、皆別々の高校に行きます。だから、中学校最後のクラスで笑って終われるようなクラスにしたいと思います。

また、部活動ができるのもあと少しです。僕は男子テニス部に入っています。コロナ禍なので練習も試合も大切に、後輩たちからもすごいと思われるような先輩になりたいです。

最後に、僕には行きたいと思う高校はありますが、その後何をしたいのか、何ができるのかはまだわかっていません。この一年間で答えが出せるように頑張りたいと思います。

「3年生になって」

中学3年生と聞くと思い浮かべるのはやはり受験です。この一年は、努力した人が報われる一年だと思っています。僕はこの一年は大きく成長するチャンス的一年だと思っています。よく、中学校は「大人になるための学校」と言われます。その最大の試練が受験です。だから、受験勉強を通して成長していきたいと思っています。

僕がこの一年大切にしたいことが二つあります。一つ目は切り替えです。勉強、部活動、遊びなどの切り替えを素早く行い、目の前のことに対して全力で取り組めるようになりたいと思います。

二つ目は努力することです。勉強と部活動を共に充実させ、一生の思い出になるような一年にしたいです。



「一年後のために」

私は将来、自分のことだけでなく、周りの人を支えられる人になりたい。そうなるために、今の自分に必要だと考えることが二つある。

まず一つ目は「当たり前のことを当たり前にする事」である。2年生では、提出物などをきちんと出せるときと出せないときのばらつきがあった。しかしこのまま自分に甘えていては力が伸びず、自分のことも当たり前でできないままだ。だから、それを直す最後のチャンスだと思って、一年頑張りたい。

次に二つ目だが、「周りを支えている人」とはどのような人なのか考えたとき、それができるのは、人の気持ちをよく考え、自分の芯を強く持っている人だと思った。だから私はこの一年、自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えて行動することを意識したい。この二つのことを大切に、残り一年の中学校生活を充実させたいと思う。

「後悔のない一年に」

私は新しい学年、新しいクラスで過ごす一年間を、悔いのないようにしたいと思います。残り4カ月程で部活動が終わってしまいますが、今までの自分は、全力で部活動に取り組んでいたと自信をもって言うことができません。だから、新たなスタートとして部活動に全力で取り組み、仲間と協力して悔いの残らないようにしたいと思います。

中学校は部活と勉強の両立が大事だと思っています。そして、3年生は受験という自分との戦いが待っています。だから、日々の家庭学習や授業などで力をつける必要があります。そして、卒業するときには、自分の進路に自信をもって進めるようになりたいです。